

東北インストラクター研修会（2024年3月16・17日実施）報告



2024年3月15日（金）～3月18日（月）まで行われた、第6回「J-VILLAGE CUP U-18」の期間中、審判インストラクターの研修会を実施しました。参加審判員に対して試合後にフィードバックを行うのに加えて、「『意義と不満な態度』への対応」（担当：阿久津憲仁 2級インストラクター（福島FA））と「『抑止力と雰囲気』とは」（担当：清水友 2級インストラクター（山形FA））という2つのテーマについて、担当インストラクターが用意した資料に基づきながら、審判員とのディスカッションや審判員同士のディスカッションが行われました。



審判員コメント

佐藤光将 2級審判員（福島 FA）

今回の研修会では、『異議と不満な態度』への対応と、『抑止力と雰囲気』とは、という2つのテーマについて考えました。『異議と不満な態度』への対応については、試合の中で経験することが多々ありますが、なかなか整理できていなかったため、各要素に分けて考えられる良い機会になりました。また、『抑止力と雰囲気』については、何となく感じるもので、深く考えたことがありませんでした。今回、講師や他の審判員とのディスカッションを通して多くの気づきがありました。

実際の試合だけでなく公開のような研修会での経験を、今後の審判活動に活かしていきたいと思います。



インストラクターコメント

名取洋典 2級インストラクター（福島 FA）

2つのテーマとも、ポイントを絞った資料が準備されていて、審判員たちの考えを整理することの助けになっていました。同時に、自分自身、漠然としたイメージしかもっていなかった現象に対して、より明確に理解する機会になりました。何より、一方的に審判員たちに喋り続けるのではなく、審判員たちの考えを引き出しながら、まとめていく過程について、非常に勉強になりました。